

国立天文台太陽観測所・京都大学大学院理学研究科附属天文台
合同ユーザーズミーティング
「太陽地上光学観測の新展開2005」

開催のお知らせ

(サーキュラー NO.1 2004/12/27)

日時： 2月1日(火)午後1時より
2月2日(水)午後5時まで
場所： 明星大学日野キャンパス 19号館B02
<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/jimsystem/hino/>

主催：国立天文台、京都大学大学院理学研究科附属天文台
共催：名古屋大学太陽地球環境研究所、明星大学

趣旨

国立天文台太陽観測所および京都大学大学院理学研究科附属天文台は共に太陽光学観測機器の共同利用を行っております。本研究会は、ユーザーズミーティングとしてこれら機器や観測データのユーザーの皆さんに研究成果を発表して頂くと共に、観測所の運用について大いに議論しまたホスト側に対して注文をつけて頂き将来のより大きな研究成果へとつなげることを目的として、企画しました。

また、これら観測所の主力機器が完成以後既に長い年月を経ていること、一方ではスペースでの光学太陽観測が現実のものになりつつあり、地上でも海外では新しい世代の装置が活躍をはじめたり建設中であつたりすること、に鑑み、広く太陽の光学観測に関心をお持ちの方に参加頂いて太陽地上光学観測の将来を考える場ともしたいと考えております。そこで、研究会の構成としては以下のように予定しています。

1．各施設の運用状況報告

共同利用の状況、望遠鏡の状況、装置開発の現況など

2．ユーザーによる観測解析結果の紹介

単なる研究結果の報告にとどまらず、現状の観測の問題点の指摘、今後の観測の提案や新たな観測装置・観測方法の提案も含めて

3．将来計画へ向けての提案と議論

- (1) 海外望遠鏡での観測及び海外新望遠鏡の紹介と国内望遠鏡への提言
- (2) 将来へ向けての装置開発の報告・提案
- (3) 太陽地上観測の将来計画へ向けての議論

今回は明星大学に場所をお借りして開催することになりました。以下のように発表・参加の募集をしますので、関係の方多数の申し込みをお待ちしております。

発表・参加申し込み

下記の申込書に必要事項を記入して下さい。

申し込み先 : um2005feb@solar.mtk.nao.ac.jp
申し込みしめきり : 2005年1月12日(水)

【講演の募集について】

・装置や観測データのユーザーとしての研究発表(単なる成果報告ではなく装置に対する評価・注文・提案を含めてください)
・現在の観測所運用に対するコメント
・将来計画へ向けての提案
を募集します。発表形式は口頭のみです。

【旅費補助について】

本研究会は、国立天文台共同研究集会開催経費と名古屋大学太陽地球環境研究所共同研究集会経費を受けて開催されるもので、旅費の支給ができます。必要とされる方は申込書にその旨御記入下さい(十分ではありませんのでご希望に沿えない場合があることをご承知下さい)。

【集録について】

冊子は作らず、web上でプレゼンテーションファイルを制限つき公開するようになりたいと思います。

【問い合わせ先】

国立天文台 花岡庸一郎 hanaoka@solar.mtk.nao.ac.jp
京都大学 上野悟 ueno@kwasan.kyoto-u.ac.jp

【世話人】

萩野正興、花岡庸一郎、一本潔、桜井隆、篠田一也(国立天文台)、平山淳(明星大学)
黒河宏企、北井礼三郎、上野悟、森本太郎(京都大学大学院・理・附属天文台)
増田智(名古屋大学太陽地球環境研究所)

=====

参 加 申 込 書

氏 名 :
所 属 :
職(学年) :
住 所 :
電 話 :
F A X :
e-mail :

講演を申し込まれる場合、その題目 :

講演者(所属) :

発表希望日 : 特に無し ・ 2月 日

旅費/滞在費 : 要・不要

出張日程 : 月 日 - 月 日 (泊 日)

その他要望など :

